

豊後潮太鼓は、1986年に大分市で結成され、豊後水道の四季を織りなす様々な情景や景観を和太鼓で表現しようとして「豊の海の響き」をテーマに活動を続け、観光大分の一役を担っております。年間20~30回の公演をこなし県内外を始め海外までその活動の範囲を広げております。2000年には15周年記念公演「喝祭」2005年9月には20周年記念公演「翔奏乱舞」を成功させ、その演奏技術は高い評価を得ております。今では大分県を代表する和太鼓集団として活躍しており、毎年大分七夕祭りの「府内戦紙」を演奏することで知られております。

豊後潮太鼓活動経歴

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 1986年 | 結成 |
| 1987年 | 各地域の祭りやイベントに出演
積極的な演奏活動始める |
| 1996年 | 10周年記念コンサート(県芸術会館) |
| 1998年 | 第8回ドイツ国際青少年音楽祭出演
ドイツ各地で演奏活動 |
| 2000年 | 15周年記念公演「喝祭」(県芸術会館) |
| 2004年 | ファーストCDを発売 |
| 2005年 | 20周年記念公演「翔奏乱舞」(県芸術会館) |
| 現在 | 団員12名で構成され年間20回を超える公演活動を行っている |



龍陣 (りゅうじん)

[9分]

船戦に出向く武士の士気を昂揚する為に叩いたのが、出陣太鼓の「龍陣」です。

府内戦紙 (ふないばっちゃん)

[4分]

大分市で行われる七夕まつりのメインである「府内戦紙」は、武者姿・昇龍などねぶたを思わせる造りで夜はひとときわ映え、踊り隊を伴って練り歩くビックイベントのテーマ曲です。

合戦 (かっせん)

[8分]

船戦時に陣鉦とともに叩いた太鼓が今、鶴崎の喧嘩祭りでも叩いているリズムであり、それをもとに大太鼓を中心にして戦いの様子を表現したのが、この「合戦」です。

潮流 (ちょうりゅう)

[5分]

次々と変化をみせる豊後水道の潮の流れを、締太鼓でリズムカルに表現しております。

怒濤 (どとう)

[10分]

豊後水道の海の様子を太鼓の音に変えて表現しております。締太鼓の音は穏やかでうらかな海を連想し、中太鼓では波の音又全体で怒濤渦巻く、厳しい海を表現しております。

潮騒 (しおざい)

[6分]

潮のさす時に波が高く音を立てる響きを表現したものです。

喝祭 (KASSAI)

[5分]

航海の無事と幾多の門出に幸多き事を祈り、若さいっぱい打ち鳴らすKASSAIです。

火群 (ほむら)

[6分]

人の波は祈りを込め壮絶な情熱の炎(柱松)を築く明日を信じる火の群れは魂の音を発します。

RUN (爛)

[6分]

走る。みる。乱れる。溢れる。個々の感性を引き出す楽しいオープニング曲です

白蘭 (びゃくらん)

[6分]

静寂がかすかな音を呼び起こし太鼓への響きとなる。二人の女性による華麗なバチさばきです。

大太鼓 (ザッコイセ)

[8分]

友情、信頼、挑戦からの挫折、不屈の魂を大太鼓に懸ける「残念だ! 残念だったら、また来いセッセ」

